

鳥取県営水力発電所再整備・運営等事業の開始について
～日本初の水力発電所を対象とした PFI・コンセッション事業～

美保テクノス株式会社（以下、美保テクノス）は丸紅株式会社の 100%子会社である三峰川電力株式会社（以下、「三峰川電力」）、中部電力株式会社、及び株式会社チュウブとともにコンソーシアムを組成し、鳥取県が募集する鳥取県営水力発電所再整備・運営等事業（以下、「本事業」）の事業者を選定され、本年 9 月 1 日から本事業を開始します。

本事業は、鳥取県が保有する春米（ツクヨネ）発電所、小鹿（オシカ）第一発電所、小鹿第二発電所、日野川第一発電所の計 4 つのダム水路式水力発電所を対象に、運営権が 20 年に亘って設定される日本初の水力発電所を対象とした PFI*1・コンセッション事業です。本年 5 月に特定目的会社である「M&C 鳥取水力発電株式会社」を設立し、本年 7 月に鳥取県と特定事業契約を締結しました。本事業では、以下の主な業務を通じて、電気の地産地消など地域貢献事業に取り組んでいきます。

◆ 再整備業務

小鹿第一発電所、小鹿第二発電所、日野川第一発電所等について、「電気事業者による再生可能エネルギー電気の調達に関する特別措置法（FIT 法）」に適合するための再整備。

◆ 運営維持業務

春米発電所、小鹿第一発電所、小鹿第二発電所、日野川第一発電所の運営業務、維持管理業務、統括マネジメント業務。

本事業による年間発電量は、一般家庭約 28,000 世帯分の年間電力消費量を見込んでおり、地域共生が水力発電事業に不可欠であるという考えのもと、20 年に亘り事業を運営します。

また、鳥取県外のリソースを鳥取県内へ投入・活用することにより、地元で水力発電業務を一気通貫で遂行できるオールマイティな人材の育成を進め、本事業を地元完結で実施する体制を構築するとともに、将来的には地元人材のみで本事業を運営していくことを目指します。地元完結型の水力発電事業を起点とし、地域貢献事業を通じた地域の活性化・プレゼンスの向上に寄与することで、長期的な視点で鳥取県経済の発展に貢献するものと考えます。

*1 民間の資金と経営能力・技術力（ノウハウ）を活用し、公共施設等の設計・建設・改修・更新や維持管理・運営を行う公共事業の手法

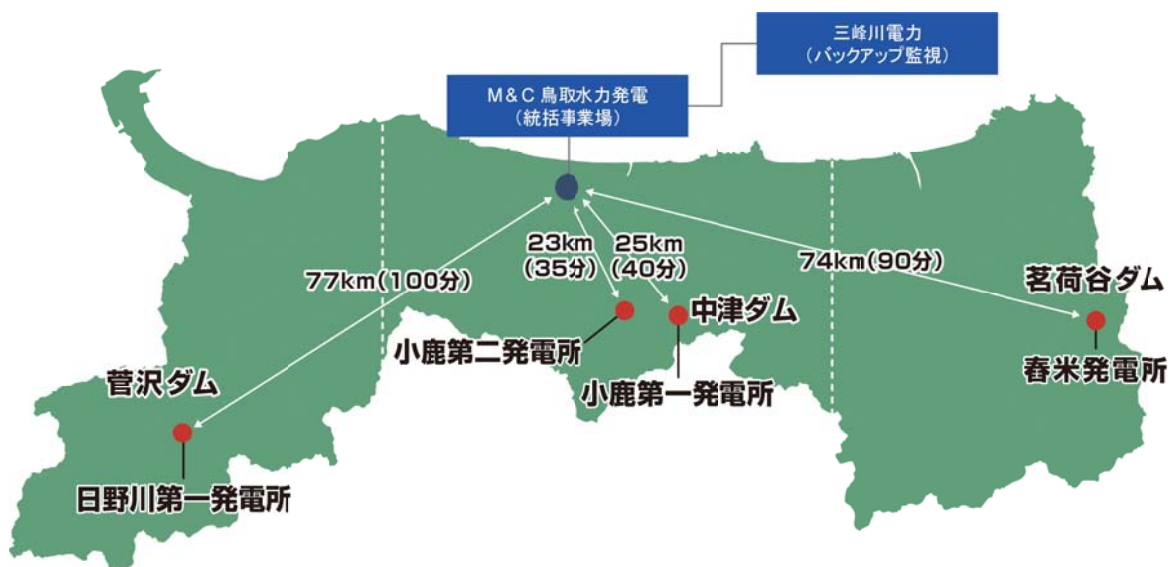
<本事業概要>

事業会社：M&C 鳥取水力発電株式会社（代表者：代表取締役社長 伊藤 直樹）

住 所：鳥取県東伯郡琴浦町大字逢東 1061 番地 6

施設名	所在地	認可出力	運転開始	売電期間	売電先
春米発電所	八頭郡若桜町内	7,890kW	2020年（予定）	20年	中国電力ネットワーク株式会社
小鹿第一発電所	東伯郡三朝町内	3,690kW	2024年（予定）	20年	中国電力ネットワーク株式会社
小鹿第二発電所	東伯郡三朝町内	4,990kW	2023年（予定）	20年	中国電力ネットワーク株式会社
日野川第一発電所	日野郡日野町内	4,300kW	2024年（予定）	20年	中国電力ネットワーク株式会社

【所在地地図】



< 発電所写真 >

春米発電所



小鹿第一発電所



小鹿第二発電所



日野川第一発電所



以上